

## 会 議 録

会議名	平成 25 年度第 2 回東浦町文化財保護審議会	
開催日時	平成 25 年 9 月 27 日（金） 午前 10 時から午前 11 時 5 分まで	
開催場所	東浦町郷土資料館 講座室	
出席者	委員	石原弘幸氏、河合美三男氏、伊藤岱二氏、福岡猛志氏、高部淑子氏
	事務局	稲葉教育長、長坂教育部長、山本生涯学習課長、楠生涯学習課主査
欠席者	前埜尚子氏、鬼頭秀明氏	
議題	1 視察研修について 2 その他	
傍聴者の数	なし	
審議内容	<p>◆課長 次第に従い、会議を進める。最初に会長からあいさつ。次に教育長あいさつ。</p> <p>◇会長あいさつ 秋の祭礼の季節となった。地区の保存会等の方々の尽力により行事が実施されており、伝統行事が子どもたちにも継承されていてほしい。また、町民の方々にも関心を持ってもらう機会にもなってほしい。</p> <p>◆教育長あいさつ いいものを残して後世につなぐのが大人の役割ではないかと思う。先日の 9 月議会で、町内の文化財の保管状況等について一般質問があった。保護保存状況について、常日頃から考えていかなければならないと思った。</p> <p>◇会長 次第に従い議事を進める。次第の 2 「視察研修について」を議題とし、委員の意見を募る。</p> <p>◇委員 テーマを決めて視察研修先を決めたらどうか。例えば、家康・清康関係で岡崎市内を巡るなど。</p> <p>◇委員 緒川城址の参考とするため、他市町の似た規模等の城址の活用状況を見るのもよいと思う。</p>	

◇会長

事務局から提案があるとのことなので、説明を求める。

◆事務局

先ほどの教育長あいさつでも述べたように、町議会で、指定文化財の保管状況や所在確認状況についての一般質問があった。指定文化財の保管状況は、所有者が保管しているものと町郷土資料館等の資料館施設へ寄託しているものがある。年1回の文化財消防訓練時には所有者へ確認させてもらっているが、定期的な状況確認作業は実施してなかったなので、視察研修の際に所有者が現地で管理しているものを中心に、巡視を行いたいと考えている。また、指定文化財の巡視と他市町等の視察を1年おきに順番に実施できたらと考えているので、ご意見をうかがいたい。

◇会長

事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。

◇委員

文化財の確認作業は、行政の業務ではないか。委員として助言や意見はできるが、確認作業となると研修という意味合いとは違ってしまわないか。

◇委員

自分自身も文化財についてすべてを知っているわけではない。このような機会に見て、委員として知っておくことも大事だと思う。

◆教育長

現地に行ってみながら、アドバイス等指導していただく時間にもできればと思っている。

◇委員

指定されているものを見るだけでなく、他のものも見ながら今後の指定候補を挙げていく場としてもよい。今は古いものだけではなく、近現代のものも指定文化財の範囲に入ってきている。町として残していきたいもののリストを作って、その中から指定候補を挙げていくのもよいと思う。

◇会長

委員として文化財を知っておく必要もあると思われるので、今年度の視察研修は町内視察を行うのはどうか。

◇会長

反対意見はないようなので、町内の文化財の視察とする。意見にあったように、指定文化財に限定せず、多種類の文化財を見て

	<p>いきたいと思う。</p> <p>◆事務局 日程については、委員と調整の結果、11月7日（木）とする。具体的な視察場所は会長と相談して、決めさせていただく。</p> <p>◇委員長 次第の3の「意見・情報交換について」に移ることとする。</p> <p>◇委員 前回の審議会で話題となった緒川村の郷蔵について、その後の動きはあったか。</p> <p>◆事務局 前回の審議会で郷蔵は貴重なものと意見をいただいたので、地元には大事なものであると説明した。道路拡幅の際には、道路分引つ込む方向でいきたいと考えている。</p> <p>◇委員 指定文化財の保存団体に毎年、保存継承事業として補助金を支給しているが、保存団体によって金額に差がみられる。今後の補助額についてどう考えているのか。</p> <p>◆事務局 現在、補助金検討委員会において補助金のあり方について検討が行われており、今年度に結論が出る。今後は各保存団体の事業費の金額により補助額が決まってくる予定になると思われるが、補助金検討委員会の結論に従って補助額を考えていきたい。</p> <p>◇委員長 他に意見がないようなので、本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ閉会とする。</p>
備考	なし